徒然草 ・亀山殿の御池に・

あらすじ 次の空欄に適語を入れて、内容を整理しなさい。

第一段	第二段	第三段
亀山殿の池に〔①　　〕の水を引こうとして、土地の住民に〔②　　〕を作らせた。多くの費用と時間を使ったが、全く回らず、直しても結局回らなかった。	そこで、宇治川のそばの住民を呼んで作らせたところ、簡単に作り、思うように回って、水を〔③　　〕ことができて、見事であった。	何事でも、〔④　　〕は、すばらしいものである。

重要語句 次の語句の意味を答えなさい。

(1) いたづらなり

(2) 召す

重要文法 傍線部の助動詞の意味と活用形を答えなさい。

(1) 作らせられけり。（三〇・3）

(2) めぐらざりければ（三〇・4）

(3) こしらへさせられければ（三〇・7〜8）

(4) やんごとなきものなり。（三〇・10）

	意味	活用形
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		

内容理解 次の問いにそれぞれ答えなさい。

1 「営み出だして」（三〇・3）について、(1)誰が、(2)どうしたのか答えなさい。

(1)

(2)

2 「いたづらに立てりけり。」（三〇・5〜6）とは、どのような様子か説明しなさい。

3 「参らせたりける」（三〇・8〜9）とは、(1)誰が、(2)どうしたのか答えなさい。

(1)

(2)

4 「めでたかりけり。」（三〇・9）とあるが、ここでの「めでたし」の意味を答えなさい。

5 この段の主題を示す一文を本文から抜き出しなさい。